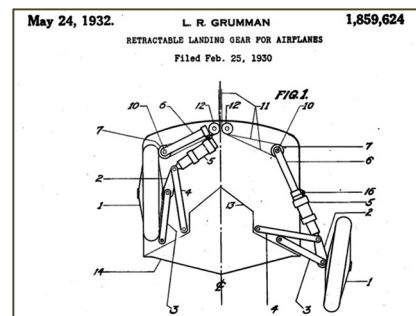


ワケ カタチには理由がある(8)

～グラマン J4F ウィジョン 飛行艇



本機は、1940年に初飛行した、グラマンの小型飛行艇です。胴体側面にランディングギアを引き込み可能で、「ネズ爺&ハテナンの特許探偵団 Vol.6」で取り上げた特許発明の技術を使っています。型式番号 J4F を説明すると、雑用機(Utility…なぜか J)で、グラマン社製(F)の4番目の米国海軍採用機、ということになります。飛行艇全般に言えることですが、この機種は、対潜水艦といった勇ましい戦闘より、海上に不時着した飛行機の乗員を助けるための地味な救難任務がメインでした。しかし、海上で助けを待つ遭難者からすれば、この機体が助けに来てくれたときは、地獄で仏に見えたに違いありません。模型は、沿岸警備隊塗装として制作しました。離水性能を高めるためエンジンが大きく上を向く形状に加え、下面に機体番号を大きく記載し、銀色と黄色の派手な塗装を纏った本機は、他の軍用機にないカッコ良さを感じます。

【模型について】

チェコのパブラ(Pavla)製 1/72 の簡易インジェクションキットです。このメーカー、残念ながら一時期の元気がなくなり古いキットの再販が望めなくなっているため、現在、このキットは入手困難かもしれません。なお、英国海軍が使用したタイプがゴスリング飛行艇で、エアフィックスの佳作キットがあります。

(中川裕幸 2021年3月)